

藤沢市 平成30年度事務事業評価シート(平成29年度分)

事務事業名	オリンピック開催準備関係費										担当	部課名	生涯学習部 東京オリンピック・パラリンピック開催室			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	赤坂 政徳	電話	6312

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	平成 33 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技が、藤沢市江の島で開催されることに伴い、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進に向け、ボランティア等推進計画をはじめとした各種事業計画の策定、気運醸成事業の実施、開催準備等に係る関係機関等との協議・調整を行う。						
事業目的および必要性	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の会場関連自治体として開催準備等を適切に行うとともに、大会の開催を好機と捉え市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進を通じて、まちの魅力を創出することを目的としている。						
対象	1. 個人	市民				427,501 人	
根拠法令等							
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 株式会社 電通東日本 ほか) (委 託 等 内 容 : 「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」策定業務 ほか) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負 担 金 : (仮称)セーリングワールドカップ開催支援準備委員会負担金) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援		2-1-11		「生涯学習ふじさわプラン2021」 「スポーツ推進計画：みらいふじさわスポーツ元気プラン」 「藤沢市文化芸術振興計画」			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか		点	点	2.0 点	1.78 点		
		点	点	点	点		

平成29年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	報償費	248 千円	ボランティア講座, 1000日前イベント謝礼 ほか
	役務費	263 千円	フラッグツアー警備ほか
	委託料	21,765 千円	気運醸成事業, ボランティア計画等
32,238 千円	使用料及び賃借料	1,071 千円	電子複写機, 軽自動車リースほか
	その他	8,892 千円	賃金, 旅費, 消耗品費等
【参考】 平成30年度 予算額	事業費節別内訳		
	費 目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	400 千円	講演会講師謝礼ほか
	役務費	700 千円	セーリング艇搬送ほか
	委託料	49,503 千円	気運醸成事業, ボランティア計画等
74,984 千円	使用料及び賃借料	1,313 千円	電子複写機, 軽自動車リースほか
	その他	23,068 千円	賃金, 旅費, 消耗品費, 負担金等

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正規職員等	0.00	0.00	8.00	9.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	1.00
合計	0.00	0.00	8.00	10.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	●あすチャレ!スクール:小学生対象:147人 ●セーリング・パラアスリート写真展:市民一般,オープン参加 ●産業フェスタ:市民一般,オープン参加 ●オリンピアン教室・水泳:受講者60人,観覧800人 ●体感!セーリングの魅力in江の島:親子対象:114人 ●東京オリンピック・パラリンピックフラッグツアー:市民一般,オープン参加 ●市民まつり・陸上体験,艇の展示:市民一般,オープン参加 ●1000日前イベント:市民一般,オープン参加 ●パラスポーツ講演会:一般市民:308人 ●ボランティアワークショップ:一般市民:30人 ●東京2020大会マスコット投票:小学生 ●ボランティアフォーラム:市民一般:352人 ●ボランティア講座2018:市民一般:235人 ●市民応援団名称WS:学生ほか:28人 ●プールでセーリング体験:46人 ●私の夢カレンダー発行:オープン ●パラリンピック教室・ゴールボール:親子:24人 ●市民応援団設立イベント:市民一般:登録515人,オープン参加 ●出張講座:15回,計612人						
	成果目標	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値
	普及啓発事業の参加者数	人	-	-	1,000	1,500	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	普及啓発事業実施数	回	-	-	18	27	協力事業総数:87事業
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	普及啓発事業の参加者数	人	-	-	1,291	2,471	
	数値で表せない効果						
	写真展や市民まつり等出展などのオープン参加事業の参加者数						

4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	0	126,521	120,348			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	99,551	119,238			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	0	0	22,387	28,770			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	77,164	90,468			
	職員数(常勤 非常勤)	0.00 0.00	0.00 0.00	8.00 0.00	9.00 1.00			
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219			
	①職員給与合計(常勤)	0	0	72,808	82,971			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	3,468			
	③退職金相当額	0	0	4,356	4,029			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	26,970	1,110			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	0	0	26,970	1,110			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
行政収益(事業収入) B	0	0	7,429	8,675				
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	7,429	8,675				
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0				
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0				
③国庫支出金	0	0	0	0				
④県支出金	0	0	7,429	8,675				
⑤その他()	0	0	0	0				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額	0	0	0	0				
収支差額(純費用)A-B E	0	0	119,092	111,673				
分析指標	項目	普及啓発事業の参加者数 F	単位	単位	単位	単位		
		-	-	1,291	2,471			
			人	人	人	人		
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	0.00	0.00	98,002.32	48,704.17			
市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00	418,308	0.00	420,619	280.15	425,105	261.22	427,501
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 職員数・・・[常勤]一般職員,再任用職員,任期付職員,嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し,事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	①マルチパートナーシップによる市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会にしていくための手法 ②周辺住民の生活環境に直接影響する江の島島内会場利用計画及び周辺の利用制限等に関する情報提供
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	①市民協働による気運醸成を高める事業や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、セーリング競技等の普及啓発事業の実施 ②大会関係者、関係機関との協議・調整や先行的な事業計画等の策定
(3) 平成29年度の課題	①市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進していくため、大会関連ボランティア等実施計画の策定、市民応援団設立準備、関連計画として、文化プログラム、教育プログラムの策定 ②周辺住民の生活環境に直接影響する江の島島内会場利用計画及び周辺の利用制限等に関する情報提供
(4) (3)解決のための今後の取組	①市民協働による気運を高める事業や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、セーリング競技等の普及啓発事業の実施 ②大会関係者、関係機関との協議・調整や先行的な事業計画等の策定

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	○ <input type="radio"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	④ 事業費…平成29年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満	
	⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満	
	⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	
	(2) 財政的な特徴		
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性

2. 市民等サービス(その他)	
-----------------	--

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会に向け、オリンピック・パラリンピック関係事業等への参加意欲が高まっている。 ・平昌オリンピック・パラリンピックの開催による気運の高まりと、各種目の世界大会における日本人選手の活躍、報道等が盛んになっている。 ・開催準備に向けた役割。費用分担の総論大枠は定まったものの、各個別具体的な役割・費用負担が定まっていない。 	
他市等の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の会場外自治体においては、東京2020大会の効用を得るため、事前キャンプ等の誘致が進んでいる。 	
市民ニーズ	把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック 藤沢市支援委員会及び各分科会による。 ・2020応援団 藤沢ビッグウェーブの活動 ・各種講座・イベントでの意見、アンケート収集
	把握内容	オリンピック・パラリンピックに関わる方法 民間事業者から経済効果への仕掛け方法 市全体での気運醸成について
	対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・市実施事業として、仕掛けていくとともに、民間の資金・ノウハウ等の活用を視野に、活動等の拡充を図る。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会に向けた気運醸成高めるイベントとして、庁内アクションプランを定め、全庁的に事業を実施していくとともに、大会組織委員会が実施する参画プログラムを活用してオリパラ関連イベントとしての普及や事業効果の拡充が図られることができた。 ・今後は、2018年から開催されるセーリングワールドカップシリーズ江の島開催を好機として、2020応援団 藤沢ビッグウェーブ参加者数を拡充し、大会気運醸成、セーリング競技の普及啓発、ボランティア等の市民参加、おもてなし等の取り組みを実践することで、2020年までにノウハウ等を積み重ねていく。 	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	拡 大
	「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」を中心に事業展開を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグウェーブの登録者数を拡充する。 ・ビッグウェーブに定期的に情報提供を行い、関連イベントへの参加を促す。 ・ビッグウェーブ登録者と連携し、活動の輪、支援の輪、共助の輪を広げ、市民の方々が大会を楽しめるよう進めていく。 東京2020大会に向けた気運醸成。 <ul style="list-style-type: none"> ・大会気運醸成事業等 ・セーリング競技の普及：事業数、対象者拡充 ・市内のスポーツ関連イベント等に、参画プログラムを積極的に活用し、市内外に取組を発信する。 ・都市ボランティアの実践、藤沢市独自のボランティアのアイディア収集・事業化準備 	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	東京オリンピック・パラリンピックに係る関係組織との連絡調整	有	有	3	3
5	東京オリンピック・パラリンピックに係る各種啓発事業	有	有	3	3
6	東京オリンピック・パラリンピックに係るボランティアの育成事業	有	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	秋山 曜	確認日	2018/6/1
----	-------	----	------	-----	----------